

理論訓示 第1回

『できなくても、考えた分だけ、賢^{かしこ}くなる』

今回のテーマは、『できなくても、考えた分だけ、賢^{かしこ}くなる』です。

パズル道場の理論訓示で、もっとも大切な言葉です。

これは、できなくても、あきらめないで考えれば、たくさん頭を使うわけですから、頭がきたえられ、賢^{かしこ}くなりますという意味です。

『それならば～』

むずかしくて、簡単にはできそうもない問題に出会った時、『やだなあ～』、『大変そうだな～』、『めんどくさいなあ～』ではなく、『やったね！これでもっとかしこくなれる。』と考えるべきですね。

では、また！

理論訓示 第2回 『全集中タイム』

今回のテーマは、全力集中タイムについて説明します。

これを実践すれば、集中力はもちろん、思考力を高める事に役立ちます。

ではどのようにするのか？

まずは深呼吸をします。

そして、真剣に集中してスタートします。

スタートしたら、終了するまで、一言も、一文字も声を出してはいけません。

そして、もっとも大事なものは、なんとしても自分の目標を達成するぞという気持ちが重要です。

さらに、その気持ちが強ければ強いほど、効果が高まります。

執念と言えるくらい強い気持ちで取り組んで下さい。

このことは、一人でやっても効果がありますが、そこにいる全員が同じように全力集中すると、張り詰めた空気感となり、全員の能力アップに役立ちます。このことを『場の力』といいます。

ベーシックトレーニングは、ぜひとも全力集中で。

この理論訓示も全力集中、全力集中で聞きましょう。

では、また!

理論訓示 第3回 『全集中タイム』その2

今回は、前回の全力集中タイムの補足を説明します。

前回、全力集中タイムで取り組むのは、ベーシックトレーニングと理論訓示だと説明しました。

今回は、その他に全力集中で取り組むべきものを説明します。

まずはマッハワン。

次は、毎月実施しているパズルオリンピック。

最後は、春と夏に実施している全国大会での、全国一育配信トライアルです。

これ以外は全力集中ではありません。

え？・・・

パズル道場検定は？

検定対策テキスト学習は？

立体四目などの教具は？

これらはすべて、全力集中でやるか、のんびりやるか、気分転換しながらやるかは、自分で考えて、自分で作戦をたてて取り組んで下さい。

もちろん、回りの人に迷惑をかける事は絶対禁止です。

では、また。

理論訓示 第4回 『わからないときどうしますか？』

今回は、わからないときに、どうしたらいいかについて説明しますね。

文章の意味がわからない時、もちろんじっくり読んでもわからない時ですね。
そんな時は、先生に質問してください。

次に、問題がわからない時、または、解き方はわかるけど、正解にならない時。
どうすればいいか、わかりますか？

まずは、こういう時は賢くなるチャンス。

『できなくても、考えた分だけ、賢くなる』を思い出してください。

だから、あせったり、イライラする必要はありません。

どっしりと構えて、チャンスだという事を思い出してください。

あとは、「あーでもない」、「こーでもない」と、色々なやり方を試してください。
正解になるまで、諦めないで、何度でもやり直してください。

ねばれば、ねばるほど、賢くなります。

それでも・・・ねばり過ぎて疲れてしまったら
気分転換の為に他の問題に挑戦しましょう。

気分転換するだけで、できるようになる事は、めずらしい事ではありません。
では～ また逢いましょう！

理論訓示 第5回 『まちがい直しのやり方』

今回は、間違い直しのやり方について、説明しますね。

問題に挑戦して、間違えてしまったら、まずはもう一度、挑戦しましょう。
ただし、注意事項があります。

最初よりも、ゆっくりやってください。

理由は、一度やっているのに雑になってしまう場合があります。

そして、それが、雑に解く習慣につながる場合もあるので、注意しましょう。

さて、それでも間違えてしまったら、やり直せば、なんとかなりそうだと思います。何度でも正解になるまで挑戦しましょう。途中で気分転換しても構いません。今のままでは無理だと判断したら、教具を使ったり、図をかいたりしましょう。教具を使ったり、図をかいたりする事は、諦めたわけではなく、別の作戦での挑戦ですから、これでも十分に賢くなります。

教具の使い方は、最初は先生に聞いてください。ただし、すべての問題に対する教具があるわけではありません。

図のかき方は、まずはなんでもいいので、自分の作戦で考えてかいてみましょう。ただし、これは間違い直しの時だけです。

なお、この教具や図は、前回の理論訓示の、『わからないとき』に使っても構いません。

では・・・また逢いましょう。

理論訓示 第6回 『イメージ力（かかないで考える）』

今回は、イメージ力。言い換えると、かかないで考える事の大切さを説明します。

普通の算数の勉強では、ほとんどの問題で、まずは図をかいたり、式や筆算をかいて考えます。

これは、正しい解き方です。

しかし、パズル道場では、図をかくのは、間違い直しの時や、どうしてもわからない時だけです。

式や筆算も、かかない時がたくさんあります。

なぜでしょうか・・・？（溜め気味に）

理由は、パズル道場は思考力という考える力と、イメージ力というかかないで、考える力をトレーニングしてレベルアップする講座だからです。

そして、イメージ力がレベルアップすると、理解力がレベルアップします。

先生のお話や問題を読んだ時に、今までよりわかるようになります。

ですから、これだけでもかなり賢くなるのです。

では・・・また逢いましょう。

理論訓示 第7回

『web ベーシックトレ』

今回は、web ベーシックトレについて説明するよ！

授業の最初に実施するベーシックトレーニング・・・

これは様々な思考力の土台をつくるトレーニング。

パズル道場のトレーニングの中で、最も大切なトレーニングだということを知っていましたか？

このベーシックトレーニングを、いつでもどこでも生徒 DX から取り組むことができるのが、『web ベーシックトレ』です。

なんと！・・・無料です。

生徒 DX の TOP 画面から、簡単に入れます。

授業で実施するベーシックトレーニングは、2 段階のレベルに分かれています
が、Web ベーシックトレは、なんと 4 段階に分かれています。

その 4 段階を自由に挑戦できます。

タイムは、自動で計測されます。

自分の新記録が出ると、新記録として表示されます。

さらには、登録した保護者のメールに、『新記録達成おめでとうメール』が送られます。

ゲーム感覚で楽しんで！

どんどん賢くなりましょう。

では・・・またね～！

理論訓示 第8回 『自分の作戦』

今回は、自分の作戦について説明するよ！

自分の作戦を考えること、これをとっても素晴らしい事です。
自分の作戦を考えれば考えるほど賢くなります。
さて、なぜ賢くなるのでしょうか。

それは、教えてもらうよりも、教えてもらった事を思い出すよりも、自分の作戦
を考えることの方がたくさん頭をつかいます。
頭は使えば使うほど賢くなります。
だから、自分の作戦を考えれば考えるほど、賢くなるのです。
もう1つ理由があります。
自分の作戦を考えるには、その問題を詳しく知る必要があります。
だから、もっと深く研究するようになります。
深く研究すれば賢くなるのはあたり前です。

さらに～・・・

自分の作戦を考えるのは、問題の解き方だけではありません。
パズル道場の授業の1部が、選択制になっている人は、
たくさんいるのではありませんか？
何をやるかということ、自分で選ぶということですね。
これも自分の作戦です。

そして、家に帰って何をやるか？
これも自分の作戦で考えることが、一番素晴らしいことなのです。
なぜならば、人は、自分で決めた事を一番がんばるからです。

まずは、先生やお母さんお父さんから、大切な基礎を教えてもらったら、あとは、
できるだけ自分の作戦で考えて賢くなりましょう。

では・・・また！

理論訓示 第9回 『自立と自律』

今回は、自立（じりつ）と自律（じりつ）について説明するよ！

自立とは、自分でやるべきことは、自分だけの力でやれるようにすることだよ。

パズル道場で大切にしている、『自分の作戦』を考えたり、それを実行できているということは、まさに自立している事になるね。

次に、もう1つの自律とは？自分を律するという事だよ。

自分を律するというのは、ごまかしたり、ルールを守らない人にならないように、自分自身で気をつけようという、強い気持ちを持つことだよ。

自立できていない人。そして、自律もできていない人。

このような人は、思考力も身につかないし、成績も上がりません。

だから～・・・

自立と自律が大切であるということを、わすれないようにしましょう。

では・・・また！

理論訓示 第10回 『パズル道場検定』

今回は、パズル道場検定について説明するよ！

パズル道場は、検定に合格するための『検定対策学習』をする時間が中心になっていますね。

さて、この『検定対策学習』と、『パズル道場検定』に挑戦している時間は、どちらがみなさんを賢くする時間なのかわかりますか？

答えは『検定対策学習』をしている時間です。

特に、ただなんとなくやるのではなく、

- ・ どうすれば合格できるか？
- ・ どこに気をつければ合格できるか？
- ・ どこを集中的に練習すればいいか？

など、自分で作戦を考えながらやると、さらに賢くなります。

もちろん～～～

パズル道場検定に挑戦する時間も、集中力などの能力が高まる大切な時間です。

そして、パズル道場検定に合格すると、ポイントがもらえますね。

級が上がっていくと、もらえるポイントが増えていくのを知っていますか？

パズル道場検定には、ポイントのことだけではなく、いくつかのルールがありますので、まだ知らない人はルールが書いてある場所を先生に聞いてね。

最後にパズル道場検定の特徴の1つを説明します。

級や段が上がると少しずつ難しくなるのは普通のことですが、ところどころに、急に難しくなる級や段があります。

これは、みなさんが賢くなるために必要な『試行錯誤』の時間や対策学習で、自分の作戦を考える時間を増やすためです。

試行錯誤とは、『あーでもない、こーでもない』と色々な方向からねばり強く考えたり、自分の作戦を試してみることです。

検定に合格しなくても、試行錯誤をねばり強くやればやるほど賢くなるのです。

思考力がレベルアップするのです。

では・・・また！

理論訓示 第11回

『空間認識能力 (1)』

今回は、空間認識能力とは何かということを説明するよ！

パズル道場は、パズルだけでなく、空間認識能力を育成するトレーニングをやっているのは知っていますね？

プログラム全体の半分近くは、空間認識能力のトレーニングです。

では、空間認識能力とは何か？

みなさんは、立体図形を考えるために必要な能力だと思いませんか？

もちろん、間違っていないですが、そのことは空間認識能力の一部分です。

空間認識能力とは・・・

立体はもちろん、平面、線、そしてなんらかの物体をイメージする能力です。

目の前に実物がなくても、図などを見て実物をイメージする能力と言った方がわかりやすいですね。

そして・・・実物やイメージしたものをさらに動かしたり、分解したり、合成したりする能力です。もちろんイメージで。

こちらが空間認識能力の中で、最も大切な部分です。

次回は～～～

空間認識能力がなぜ大切なのかを説明しますね。

では・・・また！

理論訓示 第12回 『空間認識能力 (2)』

今回は、空間認識能力が、なぜ大切なのかを説明するよ！

まずは、前回の復習から始めますね。

空間認識能力とは・・・

立体はもちろん、平面、線、そしてなんらかの物体をイメージする能力です。

目の前に実物がなくても、図などを見て実物をイメージする能力と言った方がわかりやすいですね。

これは前回の説明したことですが、このことから考えると、立体図形にも平面図形にも、両方役立つのはわかりますね。

特に、イメージする能力が必要な図形の難しい問題を解くには大きく役立つ能力です。

しか～し～～

それだけではありません。

空間認識能力は、様々な物体をイメージする能力です。

だから、この能力を高めるトレーニングをするということは、イメージする能力を高めるトレーニングという事になります。

特にパズル道場でのトレーニングは、イメージする能力を様々な角度から行う、特別なトレーニング法です。

イメージ力が高まれば、物体だけでなく、文章や聞いたことをイメージする能力も高まります。

つまり、書いてあることや、人の話を理解する能力が高まる・・・

図形に限らず、物事を理解する能力が高まるということです。

空間認識能力が、とても大切なことはわかりましたか？

次回は、空間認識能力を高めるための、パズル道場の『秘伝のトレーニング法』を説明します。

では・・・またね～

理論訓示 第13回

自立と自律①

今日から3回連続で『自立』と『自律』について説明します。

自立と自律ができている人は、思考力においても学力においても圧倒的に有利です。さらには、自立と自律ができていない人は、高いレベルの思考力や学力を身につけるのは、とても難しいのです。

簡単な内容の時は、自立と自律はあまり関係ありません。

しかし、難しくなった時に、思考力も学力も大きな差が生まれます。

さて今回は、自立と自律の最初の自立について説明します。

自立とは・・・他の人の力を借りないで自分だけの力で行う事です。

では自立できている人とはどんな人でしょうか？

人間は自分1人だけで生きていく事はできません。

自立できている人というのは、何もかもすべてを自分1人でやる人ではありません。

自分でやるべき事を自分1人でやる事ができる人です。

では、これを勉強におきかえて考えましょう。

勉強において自立している人とは・・・

1番目・・・何をやるべきかを自分1人で決められる人。

2番目・・・分からないときは、もっと考えればいいのか？

別の本などで調べればいいのか？先生に質問すればいいのか？というような事を自分で考えて正しいものを選択できる人。

言いかえるなら、困った時に自分で対策を考えられる人です。

3番目・・・2番目と基本的には同じ事なのですが、思考力をもっと高めるにはどうしたらいいか？

成績を上げるにはどうしたらいいか？

こんな時に、まずは自分で作戦を考えられる人です。

もちろん誰かに参考意見を聞く事が必要な場合もありますが、まずは自分1人で考える事です。その上で、必要だと思ったら参考意見を聞きます。

それでは今回はここまでです。

次回はもう1つの自律について説明します。さようなら。

理論訓示 第14回 自立と自律②

前回は、自立とは、自分でやるべき事を自分1人でやることである、と説明しました。今回は、もう一つの自律について説明します。

自律とは・・・？簡単に言うと、ルールを守ることです。

それでは自律できている人とは？・・・

ルールを守れる人です。

別の言い方をすると、ルールを守らなければならないという強い心を持ち、それを実行できる人です。

人間には弱い部分があります。

なまけたくなる時もあります。

ちょっとぐらいなら・・・とってルールをやぶりたいくなる時もあります。

ズルをしたくなる時もあります。

そんな弱い自分が出てきた時に、それに負けない強い心で対向して勝てる人。これが自律できている人です。

世の中には、たくさんの誘惑があります。

勉強を予定していた時間に、友だちから遊びに誘われたり、30分だけテレビを見てから勉強するつもりだったけど、テレビがおもしろすぎて、勉強時間がなくなったので宿題をいいかげんにやったり、難しくくてできない時、つい解答を見てうつしてしまったり・・・みなさんはこんな経験ありませんか？

このような誘惑に負けない強い心を持つ事も自律できているという事です。

しかし、さきほども言いましたが、人間には弱い部分もあります。

どんな誘惑にも、絶対負けない人・・・言い変えるなら完璧に自律できている人・・・

今まで、そのような人には出会った事はありません。ではどうすればいいのでしょうか？

まずは、大切な時に自律できるようになる事です。

何が大切で何が大切でないかの基準を決めるのも簡単な事ではありませんが、それでも自分が大切だと思った時は、完璧に自律できるようにがんばって下さい。

それができるようになったら、それ以外の事も自律できるように心がけて下さい。

さて、この『自立と自律』がなぜ思考力に必要か？なぜ学力に必要か？

これを次回の理論訓示で説明します。

それではさようなら。

理論訓示 第15回 自立と自律③

3回連続で説明する『自立と自律』。今回でいよいよ最後です。

さて、なぜ自立と自律ができている人は、思考力においても、学力においても、圧倒的に有利なのでしょう？まずは思考力について説明します。

思考力を高める上で大切な事の1つに、何事においても、自分で考える習慣をつける事があります。日常生活においても、勉強においても、スポーツにおいても、遊びの時も・・・できる限り自分で考える事です。なぜでしょう？

これは、とっても単純な事です。

考える回数を増やせば増やすほど思考力は高まります。

全ての時間の中で、自分で考えて行動する時間を増やしてください。

誰かに教えてもらうことよりも、自分で考える時間を増やしてください。

さて・・・自立できない人、自分1人ではできない人は、わからないとすぐに誰かに聞きます。それどころか、自分で考える前にお母さんや先生が考えてくれて、言われた事だけをする人になってしまう場合もあります。

これでは、仮説思考力どころか、考える時間が自立している人に比べて圧倒的に少ないのだから、思考力が高まるわけがありません。

次にもう一つの自律です。

なぜ必要なのでしょう？

思考力を高める為には、仮説思考力に加えて、ねばり強さが必要です。どんな難しい問題でもあきらめないで、『あーでもない、こーでもない』と試行錯誤できるかどうか重要です。もちろん、いくら考えても無理な場合もあります。

それを正しく判断できるようになるには、まずは思考力を高める為の学習方法と、そのルールに従ってやり抜く強い心、あきらめない心、負けない心が必要です。だから自律が必要なのです。

では、学力の場合はどうでしょうか？

思考力が高くないと学力も高まりません。それだけでも自立と自律は重要です。

さらには中学生になるまでに、自分でテキストの解答・解説を正しく活用できるようにならないと、学力を大きく飛躍させることはできません。

正しく活用するという事は、どのタイミングで解答解説を見ればよいかの判断力が必要です。もちろん、ズルして解答を見てしまうことは、絶対にあってはなりません。

それには自立と自律が必要です。

がんばって、自立と自律ができている人になりましょう。

理論訓示 第16回 パズルを解くとなぜ思考力が高まるのか①

パズル道場のパズルを解くと思考力が高まります。なぜでしょうか？

今回の理論訓示は、その理由を説明します。

そもそも、パズルとは何か・・・。

パズルとは、複数の条件を同時に満たす答えを見つける問題や教具です。

A という条件と B という条件と C という複数の条件がある時、A という条件にあてはまる数字が 1 と 2 と 4 とします。

その 1 と 2 と 4 のうち、B という条件にもあてはまり、さらに C という条件にもあてはまる数が 1 だとしたら、1 は 3 つの条件すべてにあてはまる数、つまり複数の条件に同時にあてはまる数ということになります。

今の事をフォープレイスを使って説明します。

このフォープレイスで☆に入る数字は何かを考えます。

最初の条件は赤で囲まれている 4 つのマスの 1～4 の数が 1 つずつ入るとい事です。

そうすると 3 は決まっていますので☆は 1 か 2 か 4 という事になります。

次の条件は、たての 4 マスに 1～4 の数字が入るとい事です、2 と 3 は入っているので☆は 1 か 4 となります。

最後の条件は、よこの 4 マスに 1～4 の数字が入るとい事です、4 は入っているので☆は 1 か 2 か 3 となります。

以上の 3 つの条件をすべて満たすのは 1 なので、☆は 1 となります。

このように複数の条件を同時に満たす答えを考えるという事は、『同時に複数の事を考える』という練習をしている事になります。

この『同時に複数の事を考える』ことこそが、パズルを解くと思考力が高まる理由の 1 つです。

それでは次回に、この続きを説明します。

理論訓示 第17回 パズルを解くとなぜ思考力が高まるのか②

前回、パズルとは複数の条件を同時に満たす答えをみつけるものであると説明しました。さらには、それに取り組む事は、同時に複数の事を考える練習になる・・・そしてそれは思考力を高めるトレーニングになるという事も説明しました。今回は、それ以外に以前説明した事を含めてパズルの効果をまとめてみたいと思います。

パズルを解く事は、次のトレーニングをする事になります。

1. 「あーでもない」「こーでもない」と、ねばり強さを強化できます。
2. 「もし、これだったらどうだろうか？」という仮説をたて、それが正しいかどうかを検証する練習ができます。
3. 最初は書いたり消したりしながら解きますが、ある程度解けるようになったら、何も書かないで解くという、パズル独自のトレーニング方法で取り組むと、イメージ化能力が強化されます。
4. パズルは様々な解き方ができるので、自分の作戦を考える練習ができます。
5. 同時に複数の事を考える練習・・・前回説明した事です。

以上です。

このように、正しく取り組めば、パズルを解くだけで思考力育成の為の5種類のトレーニングができるのです。

ただし、どんなパズルでも同様の効果が得られるわけではありません。

パズル道場のパズルは、効果の高いパズルを選んでいきます。

さらには算数・数学に必要な思考、とりわけ受験に役立つパズルを選んでいきますので、思考力向上はもちろんの事、学力も向上します。

また、1つのパズルだけでなく、たくさんの種類のパズルを解く事で、さらに効果が高まります。パズル道場では、世界的に有名なパズルはもちろん、様々な視点で思考するトレーニングができるパズルをたくさん使用しています。

だからパズル道場は、高い効果が得られるのです。

理論訓示 第18回 空気感の重要性

同じパズル道場のプログラムでも、どのような空気感の授業で取り組んだかどうかで、効果は変わってきます。

どんな科目でもそうですが、特に思考力育成の授業では空気感が重要です。

それでは効果が高まる空気感とはどんな状態でしょうか？

それは張り詰めた空気を感じる状態です。

もちろん、おしゃべりをする人はいません。

さらには、そこにいる全員が、できるできないにかかわらず、真剣に取り組んでいる状態です。このような空気感の中でパズル道場のプログラムに取り組めば、さらに高い効果が得られます。

さて、そのような空気感を作るにはどうしたらいいのでしょうか？

個別指導の授業でパズル道場に取り組んでいる人は、自分がかんばればいいのですから、とても簡単です。しかし、集団指導の授業では、たった1人がおしゃべりしたり、真剣に取り組まないだけで、理想の空気感はつくれません。

ですから、みなさんの力で、全員の力で理想の空気感をつくるものなのです。・・・簡単な事ではないですね。

パズル道場には、理想の空気感をつくる為のきびしいルールがあります。

とてもきびしいルールです。でも、このルールの目的は、先生が授業をやりやすくする為ではありません。みなさんの思考力を向上させる為のルールです。

くりかえしますが、パズル道場の授業の理想の空気感とは、張り詰めた空気を感じる状態の授業です。

なぜならば、その場にいるだけで集中力が高まり思考力のトレーニングの効果が高まるからです。この事を『場の力』といいます。『場の力』は人数が多ければ多いほど大きな力となります。

そして『場の力』を活用して、さらに思考力をアップさせるのがパズル道場なのです。

おしゃべりしたり、やる気がない人がいたり、わらいながら取り組んだり・・・こんな授業では楽しいかもしれませんが、思考力は少ししか育成されません。

パズル道場の理想の授業とは、理想の空気感で行われている授業なのです。

先生がどんなにかんばっても、全員がこのことを理解して実践しないと理想の授業にはなりません。自分自身のために、そして、同じクラスの人たちのために、理想の空気感の授業を実現しましょう。